

平成25年度 明倫小学校 第1回 学校関係者評価委員会

平成25年6月4日（火）開催

■学校関係者評価委員

梅地 信吾	元明倫小学校長	元児童相談所相談員
富川 芳人	元県PTA連合会会長	元明倫小学校PTA会長
村田 明美	萩市児童クラブ指導者	萩市人権擁護委員
三上智奈美	元明倫小学校PTA副会長	主任児童委員
岩崎喜一郎	明倫小学校PTA顧問	
大嶋 栄	明倫小学校PTA会長	
柳林 浩一	明倫小学校	校長
宇田川明恵	明倫小学校	教頭
矢野 憲文	明倫小学校	教頭

■本年度の重点目標について

特色ある学校づくり	松陰教学の推進・積極的な分かりやすい情報発信
学力の向上	授業改善・家庭学習の充実
心の教育の充実	明倫小ABCの充実と発展 (7mのあいさつ・無言清掃・目標挑戦)
安心・安全な環境づくり	教育相談の充実や組織的なかわり・安全な登下校指導

■学校関係者評価委員会での主な意見

○ 特色ある学校づくりについて

- ・学校経営の概要説明から、昨年度よりさらにバージョンアップされているのが分かる。
- ・学校だよりが定期的に保護者だけでなく地域へも配付をされ、地域も期待している。市報と合わせての回覧で、関心のある人は読んでいる。地域の掲示板に掲示しているところもある。
- ・Web ページが充実してきている。今後も分かりやすい情報発信を積極的に行いたい。

○ 学力の向上について

- ・家庭学習のめやすとして学年×10分が、今までの取組で定着してきている。自主学習の取組に対して、今後も具体的な情報提供に努めたい。
- ・児童への動機付けや意欲付けを大切にして、教師の手立てを明確にした授業改善を今後も図りたい。
- ・校内研修として「書いてかわり合う」活動をキーワードにして、全学級で授業改善に取り組んでいる。

○ 心の教育の充実について

- ・「7mのあいさつ」を昨年度から取り組んでいるが、学校や家庭、地域の方々の働きかけで、相手より先に元気なあいさつができていく児童が増えている。
- ・掃除を黙って一生懸命できるように、師弟同行で行いながら、継続的な指導をしている。
- ・児童がめあてをもって主体的に取り組もうとする活動となるようさらに働きかけたい。

○ 安心・安全な環境づくりについて

- ・評価基準として、廊下の右側歩行について記載されているが、それよりも安全な登下校など事故がないようにすることのほうが重要ではないか。
- ・教育相談の充実や配慮を要する児童への適切で組織的なかわりができるように、全教職員が共通理解しながら取り組んでいる。

○ その他

- ・校舎移転に向けて記念事業の計画を実行委員会で着実に進めている。PTA や明倫同窓会からの予算で実施したい。予算をどのように使うかは協議中。
- ・記念事業のために、今後新たな集金はしない方がよい。
- ・来年度の開校130周年記念事業と校舎移転記念事業は一緒に開催した方がよい。